

田中 亮裕 新薬剤部長インタビュー

～薬剤師として業務の質を高め、安心・安全な薬物療法を提供～

医療法改正で医薬品の安全管理体制の整備が義務付けられ、薬剤師が責任のある立場で医薬品の管理や指導を行い、安全性を確保することが求められています。それに伴い、薬剤師を各病棟に1人配置し、患者さんへの服薬指導はもちろんのこと、積極的な処方提案や副作用モニタリング、また、医薬品安全情報を整理、周知することで、医薬品の適正使用を推進しています。また、患者さんが切れ目のない薬物療法を受けられるよう退院・転院時における服薬指導やかかりつけ薬局、転院先への薬剤情報の提供を充実させたいと考えています。さらに外来患者さんへの薬物療法の支援を充実させるために、お薬受け渡し口に服薬支援コーナーを設けて、服薬支援に取り組むとともに、薬局薬剤師との連携を強化しています。薬剤師の使命である有効で安心・安全な薬物療法を提供できるよう、組織をあげて取り組んでいきます。

当院では、高い専門性を持った他職種との連携が容易であり、薬剤師としてのスキルアップが可能な優れた環境です。この恵まれた環境下で、職員だけでなく、薬学生への実習や卒業後の研修制度を通じ、多職種協働によるチーム医療が実践できる薬剤師の育成にも力を入れたいと考えています。



インタビューに答える田中薬剤部長